

弊社サービスのご紹介

ーサーキュラーエコノミー・資源循環ー

MRI 三菱総合研究所

エネルギー・サステナビリティ事業本部

政策・ビジネスによるサーキュラーエコノミーの実現を支援

資源循環政策分野の専門性・ネットワークを活用し、ビジネスを通じたサーキュラーエコノミーの実現を支援

- 近年、資源消費の最小化や環境負荷の削減が経済価値を産むサーキュラーエコノミー(Circular Economy, 循環経済社会)の概念が注目されています。
- また、プラスチックの資源循環や食品ロスの削減、急速に普及が進む太陽電池や自動車用蓄電池などのリサイクルといった多くの社会課題が顕在化しつつあります。
- 当社は官公庁のお客さまに対して、資源循環・リサイクル関連制度の設計・運用に関する調査・研究などの支援を長年にわたり提供してきました。
- これらの業務経験を通じて培った資源循環分野の政策・ビジネスの知見を活かして、資源やエネルギーの「循環」をコンセプトに、イノベーションと新しいビジネスをデザインし、確固たるビジョンのもとに社会に実装していくことを目指しています。

サーキュラーエコノミーを巡る機会・脅威とMRIの貢献

- サーキュラーエコノミーへの移行が進む中、現在のビジネスには機会と脅威が存在します。
- MRIは機会・脅威に対して両面(攻め・守り)からご支援しております。

機会・脅威

サーキュラーエコノミーを取り巻く状況が時々刻々と変化

- 外部環境変化とトレンドをいち早く理解し、社内の対応体制を確立し、レピュテーションを向上
- グローバル・国内市場の要請が複雑化し対応に遅れ



ステークホルダーのニーズが多様化

- 顧客・市場のニーズを先取りしたソリューション提供により顧客・市場を拡大
- 規制強化・市場対応等への対応遅れによる顧客・市場喪失、コスト増



新たな技術・仕組みによる課題解決への期待

- 将来的な市場を見越した研究開発・新規事業検討により、持続的な成長基盤を確立
- 市場の要請変化による事業継続困難



MRIの貢献

市場・政策・技術動向調査

- 事業内容・事業領域を踏まえ、国内外の政策動向を整理・情報提供
- グローバル・地域・国内の各レイヤーでの政府・企業・団体の動向を整理し、求められる対応を示唆

事業戦略コンサルティング

- 政府・顧客・市場関係者の狙いや消費者・市民団体の意識などを分析し、既存事業への影響を評価
- 事業継続・展開・拡大に向けた全社戦略・個別戦略の検討を支援

事業化検討コンサルティング(詳細はP.4ご参照)

- 中長期の動向分析をベースに、ケイパビリティを分析し、有望領域を特定
- 事業のフィージビリティ調査を実施し、事業化のハードルと対応策を検討
- 事業化に向けた計画作成、事業実施に向けた伴走支援

事業化検討コンサルティング

- お客様の事業領域における中長期的なトレンドを踏まえた市場環境調査を実施し、ステークホルダーの要請とニーズを分析します。
- お客様のケイパビリティを分析し、有望領域を探索し、ご提案します。
- そのうえで、事業のフィージビリティの検討、事業化のハードルと対応策の検討を実施し、具体的な戦略立案から計画(アクションプラン)策定・実施までを伴走支援します。

STEP1	市場環境調査	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業領域(事業内容・取扱資源(マテリアル))を踏まえた規制動向、市場環境の整理
STEP2	ケイパビリティ調査	<ul style="list-style-type: none"> ● 保有リソースを活用できる領域の検討に向け、保有技術・商品の強み・弱みを明確化
STEP3	有望領域探索	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術・商品の親和性に加え、市場ニーズ・将来性等、多様な視点から有望領域を探索
STEP4	戦略立案・計画策定	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺動向・関係者ニーズを踏まえた事業戦略立案 ● 具体的な作業計画の作成、実施に向けた伴走支援

サーキュラーエコノミーに係る業務実績

サーキュラーエコノミーに関連する調査・コンサルティング

1. 各種リサイクル法の策定・施行状況把握に係る調査・検討業務（環境省・経済産業省）

家電リサイクル法・小型家電リサイクル法・自動車リサイクル法・容器包装リサイクル法等、各リサイクル法の策定、施行状況に関する調査・分析・検討支援を長年にわたり実施。

2. 資源自律経済に係る戦略検討の支援業務（経済産業省）

ウクライナ危機・CNを背景に自律型資源循環と経済発展の両立を目指す資源自律経済の戦略検討にあたり調査・分析・検討支援を実施（2022年実施中）。

3. サーキュラーエコノミーに対応した事業戦略の検討支援（民間企業）

サーキュラーエコノミーに係る国内外の政策動向・規制動向等を踏まえ、事業への影響を分析し、対応策についての検討を支援、アドバイザリを実施。

4. 廃プラスチックのリサイクル事業の実現可能性検討（民間企業）

中国廃プラスチック輸入禁止後の国内の廃プラスチック処理・リサイクルの実態を把握し、プラスチック規制強化を見据えた廃プラスチックの国内マテリアルフローを推計し、必要となるリサイクル事業の検討・提案を行った。

5. プラスチック包装資材事業戦略の検討（民間企業）

プラスチック製軟包装の今後のリサイクル技術の実用化動向を把握するとともに、同包装のユーザーの資源循環戦略を踏まえ、環境配慮設計やリサイクル事業との連携なども含めた事業戦略を検討した。

6. プラスチック資源循環事業の環境負荷評価（民間企業）

廃プラスチックを再資源化して製品原料として利用するプラスチック資源循環事業について、CO2排出の実態を整理し、事業の環境負荷評価フレームワークを作成し、環境負荷評価を実施した。

- 本資料に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所

エネルギー・サステナビリティ事業本部

[担当]

森部 昌一

新井 理恵

メール:service@mri.co.jp

電話:03-6858-3493

〒100-8141

東京都千代田区永田町二丁目10番3号

未来を問い続け、変革を先駆ける

MRI 三菱総合研究所